



令和5年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



令和4年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111
 四半期報告書提出予定日 令和4年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第2四半期の連結業績（令和4年4月1日～令和4年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和5年3月期第2四半期	34,762	△6.6	18,321	11.6	17,667	△29.5	13,648	△24.8
令和4年3月期第2四半期	37,220	60.8	16,423	94.4	25,064	63.9	18,142	53.2

(注) 包括利益 令和5年3月期第2四半期 4,521百万円 (△68.5%) 令和4年3月期第2四半期 14,361百万円 (△36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和5年3月期第2四半期	43.33	40.15
令和4年3月期第2四半期	54.59	54.38

(注) 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和5年3月期第2四半期	206,489	125,924	60.7	398.13
令和4年3月期	219,803	138,101	62.6	437.16

(参考) 自己資本 令和5年3月期第2四半期 125,421百万円 令和4年3月期 137,690百万円

(注) 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和4年3月期	-	0.00	-	108.00	108.00
令和5年3月期	-	0.00	-	-	-
令和5年3月期（予想）	-	-	-	48.00	48.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、令和4年3月期については、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の令和5年3月期（予想）の配当金は96円となります。

3. 令和5年3月期の連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	5.8	32,500	△5.9	42,500	△12.7	31,500	△10.9	95.57

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は191円14銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 -社（社名）- 除外 -社（社名）-

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	令和5年3月期2Q	336,096,924株	令和4年3月期	336,096,924株
② 期末自己株式数	令和5年3月期2Q	21,071,303株	令和4年3月期	21,133,014株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	令和5年3月期2Q	314,977,627株	令和4年3月期2Q	332,329,308株

（注）当社は、令和4年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、令和4年10月31日（月）にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ウィズコロナへの移行が進む一方、欧米諸国のインフレーション懸念と、それに対応するための金融引き締めにより、不透明な状況が続いています。

中期経営計画の初年度となる当期は、グループ経営方針として「グローバルIPの創造と展開」を掲げ、各種施策に取り組んでいます。

9月に「東京ゲームショウ」が3年ぶりの有観客イベントとして開催されました。期間中に発表された「日本ゲーム大賞2022」で、「三国志」をテーマにしたダークアクションRPG

『Wo Long: Fallen Dynasty』、シリーズ最新作『ライザのアトリエ3 ～終わりの錬金術士と秘密の鍵～』の2タイトルが、今後期待される作品に贈られる「フューチャー賞」を受賞しました。

また、中期経営計画で重点目標として取り組んでいる新作タイトルを発表しました。エレクトロニック・アーツ社とのパートナーシップの下で開発中のハンティングアクションゲーム

『WILD HEARTS』(PS5、Xbox Series X|S、PC(Origin、Steam、Epic Games Store)用)は2023年2月に発売予定です。幕末の時代を舞台にしたオープンワールドアクションRPG『Rise of the Ronin』(PS5用)を2024年の発売に向けて開発中です。歴史や文化をテーマにした独創性溢れるコンテンツによって、さらなる成長を図ってまいります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、パッケージゲームでは、複数の新作タイトルを発売したほか、前年度までに発売したタイトルのリピート販売が堅調です。スマートフォンゲーム、IP許諾タイトルは安定した推移となりました。営業外収支においては、厳しい金融環境に対応するため戦略的にポートフォリオの組み換えを行いました。

これらの結果、売上高347億62百万円(前年同四半期比6.6%減)、営業利益183億21百万円(同11.6%増)、経常利益176億67百万円(同29.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益136億48百万円(同24.8%減)となり、営業利益は第2四半期連結累計期間として過去最高となりました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 327億83百万円 セグメント利益 179億94百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、7月に『信長の野望・新生』(PS4、Nintendo Switch、Windows(Steam)用)を国内及びアジアで発売し、20万本の販売となりました。スマートフォンゲーム『三国志 覇道』が9月に国内でサービス開始2周年を迎え、これを記念したキャンペーンを実施しました。

「ω-Force」ブランドでは、6月に発売した『ファイアーエムブレム無双 風花雪月』^(※)が累計販売本数100万本を突破しました。

「Team NINJA」ブランドでは、2023年3月に発売予定の『Wo Long: Fallen Dynasty』の体験版を9月に全世界で配信しました。

「ガスト」ブランドでは、「ライザのアトリエ」シリーズのリピート販売が好調です。

「ルビーパーティー」ブランドでは、国内で配信中の『金色のコルダ スターライトオーケストラ』において新シリーズを開始しました。イベント事業では『遙かなる時空の中で7 ～出陣！～』などを開催しました。

「midas」ブランドでは、新規スマートフォンゲームの開発に注力しております。

IP事業においては、国内及びアジア各地域で配信中の『三国志・戦略版』(国内では『三国志 真戦』)が、引き続き収益に貢献しました。国内及び台湾・香港・マカオ地域で配信中の『新信長の野望』も堅調です。LINE Gamesが運営を行う『大航海時代 Origin』(iOS、Android用)が8月に韓国で配信開始されました。オフィシャルショップ「KOEI TECMO SPOT」では、7月にオンライン販売を追加しました。

(※) 『ファイアーエムブレム無双 風花雪月』の海外における発売元は任天堂株式会社です。

アミューズメント事業 売上高 14億71百万円 セグメント利益 2億36百万円

アミューズメント施設は、新たに1店舗を出店しました。既存店売上は好調に推移しています。スロット・パチンコでは、1タイトルが稼働を開始しました。

不動産事業 売上高 6億11百万円 セグメント利益 1億82百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、有観客イベントで高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 1億52百万円 セグメント損失 92百万円

ベンチャー・キャピタル事業で、出資先ファンドの管理費用を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して133億13百万円減少し2,064億89百万円となりました。これは主に、現金及び預金が99億65百万円増加した一方で、その他流動資産に含まれている未収還付法人税が98億23百万円、有価証券が82億62百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して11億36百万円減少し805億65百万円となりました。これは主に、短期借入金が220億円増加した一方で、その他流動負債に含まれている預り金が100億9百万円、未払金が82億13百万円、未払法人税等が38億61百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して121億77百万円減少し1,259億24百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が100億4百万円、利益剰余金が31億93百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年4月25日に公表した通期の連結業績予想は、第3四半期以降の新作タイトルの販売動向、IP許諾によるロイヤリティ収入、世界経済の動向による営業外収益の不確実性に鑑み、当初予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,235	30,200
売掛金及び契約資産	13,072	10,208
有価証券	25,185	16,923
商品及び製品	38	133
仕掛品	112	252
原材料及び貯蔵品	77	67
その他	13,365	4,460
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	72,075	62,236
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,270	21,838
土地	14,093	14,019
建設仮勘定	82	1
その他（純額）	1,399	1,507
有形固定資産合計	37,846	37,366
無形固定資産		
その他	275	260
無形固定資産合計	275	260
投資その他の資産		
投資有価証券	102,940	95,323
繰延税金資産	881	5,156
退職給付に係る資産	1,824	2,107
その他	4,749	4,973
貸倒引当金	△790	△935
投資その他の資産合計	109,605	106,625
固定資産合計	147,727	144,253
資産合計	219,803	206,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和4年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	520	762
短期借入金	-	22,000
未払金	9,646	1,433
未払法人税等	6,470	2,608
賞与引当金	1,928	1,884
役員賞与引当金	389	204
その他	13,660	3,049
流動負債合計	32,616	31,943
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	48,146	47,744
繰延税金負債	156	81
その他	782	795
固定負債合計	49,085	48,621
負債合計	81,701	80,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	28,006	27,943
利益剰余金	130,954	127,760
自己株式	△39,393	△39,279
株主資本合計	134,567	131,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,548	△6,456
土地再評価差額金	△3,115	△3,115
為替換算調整勘定	2,418	3,309
退職給付に係る調整累計額	271	257
その他の包括利益累計額合計	3,122	△6,003
新株予約権	411	503
純資産合計	138,101	125,924
負債純資産合計	219,803	206,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	37,220	34,762
売上原価	12,758	9,182
売上総利益	24,461	25,579
販売費及び一般管理費	8,038	7,258
営業利益	16,423	18,321
営業外収益		
受取利息	2,911	6,548
受取配当金	581	397
投資有価証券売却益	8,111	1,701
デリバティブ評価益	1,053	2,366
為替差益	-	1,248
その他	737	666
営業外収益合計	13,394	12,929
営業外費用		
投資有価証券評価損	244	-
投資有価証券売却損	1,149	2,759
有価証券償還損	-	3,267
為替差損	95	-
デリバティブ評価損	3,235	7,462
その他	28	94
営業外費用合計	4,752	13,583
経常利益	25,064	17,667
税金等調整前四半期純利益	25,064	17,667
法人税、住民税及び事業税	6,360	3,916
法人税等調整額	561	102
法人税等合計	6,921	4,019
四半期純利益	18,142	13,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,142	13,648

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
四半期純利益	18,142	13,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,850	△10,004
為替換算調整勘定	83	891
退職給付に係る調整額	△14	△13
その他の包括利益合計	△3,781	△9,126
四半期包括利益	14,361	4,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,361	4,521

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,225	1,445	509	37,180	39	37,220
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	3	1	25	145	170
計	35,245	1,449	511	37,206	184	37,390
セグメント利益	16,115	191	71	16,378	45	16,423

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,378
「その他」の区分の利益	45
四半期連結損益計算書の営業利益	16,423

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,680	1,470	609	34,759	2	34,762
セグメント間の内部売上高又は振替高	103	0	2	107	150	257
計	32,783	1,471	611	34,866	152	35,019
セグメント利益又は損失(△)	17,994	236	182	18,413	△92	18,321

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	18,413
「その他」の区分の損失	△92
四半期連結損益計算書の営業利益	18,321

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っておりません。

(重要な後発事象)

当社は令和4年5月16日開催の取締役会決議に基づき、令和4年10月1日付で株式分割を行っております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1. 株式分割について

(1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

令和4年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき2株の割合をもって分割しております。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	168,048,462株
今回の分割により増加する株式数	168,048,462株
株式分割後の発行済株式総数	336,096,924株
株式分割後の発行可能株式総数	700,000,000株

(3) 株式分割の日程

- ①基準日公告日 令和4年9月15日
- ②基準日 令和4年9月30日
- ③効力発生日 令和4年10月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期連結会計期間末 (令和4年9月30日)
1株当たり純資産額	437円16銭	398円13銭

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
1株当たり四半期純利益	54円59銭	43円33銭
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	54円38銭	40円15銭

2. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、令和4年10月1日をもって当社定款第5条で定める発行可能株式総数を変更しております。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線部分は変更箇所を示しております。)

変更前	変更後
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>350,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>700,000,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

効力発生日 令和4年10月1日

3. その他

(1) 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

(2) 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の新株予約権の1株当たりの行使価額を令和4年10月1日以降、以下のとおり調整しております。

	調整後行使価額	調整前行使価額
第9回新株予約権	782円	1,564円
第10回新株予約権	1,939円	3,877円
第11回新株予約権	2,504円	5,008円

(3) 転換社債型新株予約権付社債の転換価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社発行の2024年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の転換価額を令和4年10月1日以降、以下のとおり調整しております。

銘柄	調整後転換価額	調整前転換価額
2024年満期ユーロ円建転換社債型 新株予約権付社債	2,660.5円	5,321.0円